

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	白船 睦洋
主な担当科目	ポピュラー実技、ジャズ実技、ポピュラーアンサンブル①,実技グループレッスン[インストゥルメンツⅡ①,インストゥルメンツⅡ②]
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	担当する授業・レッスンにおいて、全ての学生とコミュニケーション図り個々への的確な指導やアドバイス等を行う。個人レッスンでは密なコミュニケーションを取り、ディスカッションを繰り返しながら状況やレベルに応じた指導を手厚く行う。複数学生のアンサンブル授業等においては、全体指導だけではなく個別の指導や対応をしっかりと行なう。受け身の学生も多く、指導者に対して常に指導やフィードバックを求めており、より一層丁寧に目を配る指導が必要である。
2022年の教育に関する自己評価	個々への対応をしっかりと行うことができた。学生とのコミュニケーションを図ることが大きく向上した。特にアンサンブルなど複数学生の授業では、学生目線でのコミュニケーションがうまく取れ、個々へのきめ細やかな指導やアドバイスを的確に行えた。従って90%以上の目標を達成できたと考える。履修人数が多いため個々への指導には時間を要するが、学生は常に何かフィードバックを待っているからである。また、褒められることにより学生は伸びていくため、なるべく良い点を見つけ褒めるように心がけた。
2022年のFD活動に関する自己評価	FD活動を積極的に行なった。3月の2021年度FD・SD合同研修会、4月、9月の大学全体のFD合同研修会への出席、8月のSD研修会への出席。4月、7月の2回のジャズポピュラーFD研修会を主導的に行い教育内容の検討や意見交換、改善策の検討を行なうことにより、非常勤講師と協力し組織的な取り組みを行った。また、基礎ゼミFD研修会、2回の作曲学内組織FD研修会、音楽教養学内組織FD研修会などのFD研修会等全て出席した。
授業改善のために取り入れた研修内容	コロナ禍における授業・レッスンに関して、いかに質を保つべきか、特にWi-Fiの完備によってITテクノロジーを使用した効率的な指導を取り入れた(授業・レッスンのアーカイブなど)。多様な背景を持つ学生～学力や文化、言語の違いにどう対応すべきか。特にFD研修会では「留学生、日本人学生の交流とコミュニケーションについて」の学内組織での様々な検討により、特に留学生へどう対応すべきかに関しては改善のため大変参考となった。

科目名－クラス名

ポピュラー実技

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽コースの主科専攻実技を個人レッスンで学んでいく。演奏家（歌手）、アーティストとして活躍していく上で必要な基礎能力・演奏（歌唱）テクニック等を習得し、個々の能力・状況に応じて基礎的な技術から、様々なテクニック等を課題楽曲に取り組み、ポピュラー音楽に必要な音楽力、個性、表現力、感性を養い、総合的演奏（歌唱）技術の向上を目指す。

学修成果

①それぞれの楽器パートの基礎的な技術を身につけることができる。②演奏（歌唱）、アンサンブル、作曲・編曲、録音、ライブといったポピュラー音楽に必要な音楽力が身につく。③個性豊かな演奏（歌唱）表現ができる。

授業展開と内容

第1回	ガイダンス、年間レッスン計画の確認、課題曲の配付
第2回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲①を使用しての技術指導、譜読み等確認
第3回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第4回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第5回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲②を使用しての技術指導、譜読み等確認
第6回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第7回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第8回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲③を使用しての技術指導、譜読み等確認
第9回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第10回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第11回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲④や実技試験課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認
第12回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第13回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第14回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
第15回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等前期のまとめ：前期で取り上げた楽曲や実技試験課題曲を仕上げる前期で行なった内容の復習、確認
第16回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑤を使用しての技術指導、譜読み等確認
第17回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第18回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第19回	基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑥を使用しての技術指導、譜読み等確認

第20回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第21回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第22回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑦を使用したの技術指導、譜読み等確認
第23回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第24回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第25回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑧を使用したの技術指導、譜読み等確認
第26回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第27回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第28回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑨や実技試験課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認
第29回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
第30回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等1年間のまとめ：今年度取り上げた楽曲や実技試験課題曲に関して内容の総復習、確認次年度へ向けての課題や目標の設定の確認

履修上の注意

受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。個人練習は必須であり、個人練習なくして向上は望めない。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

授業外学修の指示/課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシクトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。1回のレッスンに臨むにあたり、8時間の自宅学修を必要とします。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行う。

教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

ポピュラー実技

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
評価種別				筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
実技・実習	1～	通年	0	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽コースの主科専攻実技を個人レッスンで学んでいく。演奏家（歌手）、アーティストとして活躍していく上で必要な基礎能力・演奏（歌唱）テクニック等を習得し、個々の能力・状況に応じて基礎的な技術から、様々なテクニック等を課題楽曲に取り組み、ポピュラー音楽に必要な音楽力、個性、表現力、感性を養い、総合的演奏（歌唱）技術の向上を目指す。

学修成果

①それぞれの楽器パートの基礎的な技術を身につけることができる。②演奏（歌唱）、アンサンブル、作曲・編曲、録音、ライブといったポピュラー音楽に必要な音楽力が身につく。③個性豊かな演奏（歌唱）表現ができる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、年間レッスン計画の確認、課題曲の配付
- 第2回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲①を使用したの技術指導、譜読み等確認
- 第3回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第4回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第5回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲②を使用したの技術指導、譜読み等確認
- 第6回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第7回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第8回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲③を使用したの技術指導、譜読み等確認
- 第9回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第10回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第11回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲④や実技試験課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認
- 第12回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第13回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第14回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
- 第15回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等前期のまとめ：前期で取り上げた楽曲や実技試験課題曲を仕上げる前期で行なった内容の復習、確認
- 第16回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑤を使用したの技術指導、譜読み等確認
- 第17回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第18回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第19回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑥を使用したの技術指導、譜読み等確認

第20回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第21回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第22回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑦を使用しての技術指導、譜読み等確認
第23回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第24回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第25回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑧を使用しての技術指導、譜読み等確認
第26回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第27回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第28回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑨や実技試験課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認
第29回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
第30回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等1年間のまとめ：今年度取り上げた楽曲や実技試験課題曲に関して内容の総復習、確認次年度へ向けての課題や目標の設定の確認

履修上の注意

受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。個人練習は必須であり、個人練習なくして向上は望めない。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

授業外学修の指示/課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシクトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。1回のレッスンに臨むにあたり、8時間の自宅学修を必要とします。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行う。

教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

ジャズ実技

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ジャズコースの主科専攻実技を個人レッスンで学んでいく。演奏家（歌手）、アーティストとして活躍していく上で必要な基礎能力・演奏（歌唱）テクニック等を修得し、個々の能力・状況に応じて基礎的な技術から、様々なテクニック等を課題楽曲に取り組み、ジャズ音楽に必要な音楽力、個性、表現力、感性を養い、総合的演奏（歌唱）技術の向上を目指す。

学修成果

①それぞれの楽器パートの基礎的な技術を身につけることができる。②演奏（歌唱）、アンサンブル、作曲・編曲、録音、ライブといったジャズに必要な音楽力が身につく。③個性豊かな演奏（歌唱）表現ができる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、年間レッスン計画の確認、課題曲の配付
- 第2回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲①を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第3回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第4回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第5回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲②を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第6回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第7回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第8回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲③を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第9回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第10回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第11回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲④や実技試験課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第12回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第13回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第14回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
- 第15回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等前期のまとめ：前期で取り上げた楽曲や実技試験課題曲を仕上げる前期で行なった内容の復習、確認
- 第16回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑤を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第17回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第18回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第19回 基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑥を使用しての技術指導、譜読み等確認

第20回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第21回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第22回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑦を使用したの技術指導、譜読み等確認
第23回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第24回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第25回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑧を使用したの技術指導、譜読み等確認
第26回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第27回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第28回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑨や実技試験課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認
第29回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
第30回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等1年間のまとめ：今年度取り上げた楽曲や実技試験課題曲に関して内容の総復習、確認次年度へ向けての課題や目標の設定の確認

履修上の注意

受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。個人練習は必須であり、個人練習なくして向上は望めない。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

授業外学修の指示/課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシクトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。1回のレッスンに臨むにあたり、8時間の自宅学修を必要とする。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行う。

教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

ジャズ実技

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出		
実技・実習	1～	通年	0	評価割合	100	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ジャズコースの主科専攻実技を個人レッスンで学んでいく。演奏家（歌手）、アーティストとして活躍していく上で必要な基礎能力・演奏（歌唱）テクニック等を修得し、個々の能力・状況に応じて基礎的な技術から、様々なテクニック等を課題楽曲に取り組み、ジャズ音楽に必要な音楽力、個性、表現力、感性を養い、総合的演奏（歌唱）技術の向上を目指す。

学修成果

①それぞれの楽器パートの基礎的な技術を身につけることができる。②演奏（歌唱）、アンサンブル、作曲・編曲、録音、ライブといったジャズに必要な音楽力が身につく。③個性豊かな演奏（歌唱）表現ができる。

授業展開と内容

- 第1回 ガイダンス、年間レッスン計画の確認、課題曲の配付
- 第2回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲①を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第3回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第4回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第5回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲②を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第6回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第7回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第8回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲③を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第9回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第10回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第11回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲④や実技試験課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第12回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第13回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第14回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
- 第15回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等前期のまとめ：前期で取り上げた楽曲や実技試験課題曲を仕上げる前期で行なった内容の復習、確認
- 第16回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑤を使用しての技術指導、譜読み等確認
- 第17回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
- 第18回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用しての技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
- 第19回 基礎練習項目：ベーシックトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑥を使用しての技術指導、譜読み等確認

第20回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第21回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第22回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑦を使用したの技術指導、譜読み等確認
第23回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第24回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第25回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑧を使用したの技術指導、譜読み等確認
第26回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの表現法）
第27回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等
第28回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲⑨や実技試験課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認
第29回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等 技術練習項目：課題曲を使用したの技術指導、譜読み等確認、テクニック指導（各楽器により異なるが、アーティキュレーション、強弱法、スラー、スタッカート、レガートなどの記号やそれによる表現法）、アンサンブルやライブ等での技術の応用法等、さらにテクニックや表現力の向上
第30回	基礎練習項目：ベーシクトレーニング/スケール、発声、ルーディメンツ等1年間のまとめ：今年度取り上げた楽曲や実技試験課題曲に関して内容の総復習、確認次年度へ向けての課題や目標の設定の確認

履修上の注意

受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。個人練習は必須であり、個人練習なくして向上は望めない。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

授業外学修の指示/課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシクトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。1回のレッスンに臨むにあたり、8時間の自宅学修を必要とする。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行う。

教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

曜日時限

金 5時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出		
演習	1～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

サンプルA

曜日時限

金 2時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	3～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

サンプルB

曜日時限

金 3時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出		
演習	3～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

サンプルC

曜日時限

金 4時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	3～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

ポピュラーA

曜日時限

金 2時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	100
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

ポピュラーB

曜日時限

金 3時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	100
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

ポピュラーC

曜日時限

金 4時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

金管F

曜日時限

金 5時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	3～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	100
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

A

曜日時限

金 2時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出		
演習	1～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

B

曜日時限

担当教員

金 3時限

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

C

曜日時限

金 4時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなかったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル①

ジャズポピュラーB

曜日時限

金 5時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽の様々なジャンルの洋楽・邦楽楽曲を幅広く取り上げ演奏し、アンサンブルという他楽器パートと演奏することに対する基礎知識を学ぶ。楽器同士やヴォーカルとテンポ・グルーブを合わせて演奏できるようにする。初めは課題曲の忠実な再生を目指す。他楽器の音を聴き演奏、また反応できるようにし、ダイナミクスの表現を付けられるようにする。ヴォーカルとの合同授業を繰り返しながら体験、学修してゆく。また、協調性などのコミュニケーション能力の向上も目標となる。

学修成果

①他楽器と協調性を持って演奏できる。②楽譜の進行に対応できる。③アンサンブルの中でソロ演奏ができる。④ダイナミクスの表現を付けることができる。⑤幅広いジャンルのスタイルを修得できる。⑥リズムの縦の点にあった演奏ができる。以上6項目の専門実技能力を獲得することができる。また、コミュニケーション・チームワークといった、人との信頼関係を築くための能力、課題の楽曲から文化、社会、時代背景に関する知識などを獲得することができる。

授業展開と内容

- 第1回 授業の流れ等のガイダンス。課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第2回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第3回 課題曲の演奏（Stand By Me/Ben E. King、空も飛べるはず/スピッツ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第5回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第6回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第7回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第8回 課題曲の演奏（ルージュの伝言/松任谷由美、Rolling In The Deep/ADELE）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第9回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第10回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第11回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第12回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正を行う。大きく楽曲全体の流れをつかみ、個々の間違いなどを修正する。また、転調keyでの演奏確認を行う。
- 第13回 課題曲の演奏（帰りたくなったよ/いきものがかり、Carnival/ The Cardigans）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
- 第14回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
- 第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッション

ンを行い、楽曲の演奏向上を目指す。

第16回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第17回	課題曲の演奏（Complicated /Avril Lavigne、夏祭り/Whiteberry）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第18回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第19回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第20回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第21回	課題曲の演奏（Route66/John Mayer、Choo Choo Train/ZOO）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第22回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第23回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第24回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで譜面の進行やテンポやkeyの確認等を行う。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。また、転調keyでの演奏確認を行う。
第25回	課題曲の演奏（Listen To The Music/The Doobie Brothers、純情/家入レオ）／楽器パートのみで繰り返し楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。アンサンブル全体でのダイナミクスの表現を行なえるようにする。エンディングやsoloパート等を理解し、他パートをしっかりと聴きながら演奏できるようにする。進行状況に応じてヴォーカルとの合同になる可能性もある。
第26回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第27回	課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。2週にわたりヴォーカル学生全員と合わせていきながら、演奏をしっかりとビルドアップしていく。また、演奏後はディスカッションを行い、楽曲の演奏向上を目指す。
第28回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第29回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。転調keyでの演奏や楽曲の理解や捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認を行なう。
第30回	まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を繰り返し演奏。ディスカッション等も行いながら楽曲の理解を深める。楽曲の捉え方の変化、ソロパートのスキルアップ、ダイナミクス表現、リズムの縦線の合い方等々の確認も行なう。

履修上の注意

受講に際しては各パートを耳コピー、メトロノーム練習、課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。アンサンブル授業用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回授業までにコピー・練習・準備しておくこと。ドラムの学生はテンポ出しのためのメトロノームを持参すること。（スマホアプリはNG） ※進行状況により課題楽曲・ヴォーカル合同演奏スケジュール日程等は変更のある場合がある。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられた課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。耳コピーやバンド活動、セッション参加を積極的に行なうこと。毎日の練習の中に課題曲や授業・レッスン中に明確になった自分自身の課題ポイントを取り入れ修得していくこと。授業時の演奏を録音し、持ち帰り自分の演奏を聴くこと。自己演奏を客観的に分析し、悪かった点は練習し次回の授業にはその点を注意し演奏を行なうこと。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付する。譜面はプリントかデータ、USBメモリーにて配付する。

科目名－クラス名

インストゥルメンツⅡ①

曜日時限

実技

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
実技・実習	1～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー系楽器の基本的な奏法を学ぶ。副科であるため経験・未経験と個々の能力・状況に応じて初歩的な基礎技術から、進歩に応じたテクニック等を課題楽曲に取り組みながら主科以外の楽器の技術向上を目指す。各楽器を通して音楽的視野を広げてゆく。

学修成果

①主科以外の楽器を演奏することができる。②音楽的視野を広げる事ができる。③主科の楽器にも良い影響を与える事ができる。

授業展開と内容

第1回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第2回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第3回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第4回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第5回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第6回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第7回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第8回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第9回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第10回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第11回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第12回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第13回	ベーシクトレーニング（スケール等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第14回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第15回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第16回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第17回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第18回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第19回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第20回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第21回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第22回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第23回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第24回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第25回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第26回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第27回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第28回	ベーシクトレーニング（スケール等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第29回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第30回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導

履修上の注意

レッスン受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシックトレーニング・課題曲等を練習すること。耳コピー等を行なう事。個人練習の時間を確保すること。1回のレッスンに臨むにあたり、2時間の自学修を必要とします。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行います。

■ 教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

インストゥルメンツII②

曜日時限

実技

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	2～	通年	2	評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト
				評価割合	100	0	0	0	0

教育到達目標と概要

ポピュラー系楽器の基本的な奏法を学ぶ。副科であるため経験・未経験と個々の能力・状況に応じて初歩的な基礎技術から、進歩に応じたテクニック等を課題楽曲に取り組みながら主科以外の楽器の技術向上を目指す。各楽器を通して音楽的視野を広げてゆく。

学修成果

①主科以外の楽器を演奏することができる。②音楽的視野を広げる事ができる。③主科の楽器にも良い影響を与える事ができる。

授業展開と内容

第1回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第2回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第3回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
第4回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第5回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第6回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
第7回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第8回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第9回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第10回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第11回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第12回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
第13回	ベーシクトレーニング（スケール等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第14回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第15回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第16回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第17回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第18回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
第19回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第20回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第21回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
第22回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第23回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第24回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
第25回	ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第26回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第27回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
第28回	ベーシクトレーニング（スケール等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第29回	ベーシクトレーニング（発音、発声等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
第30回	ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導

履修上の注意

レッスン受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

■ **授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法**

与えられたベーシックトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。1回のレッスンに臨むにあたり、2時間の自学修を必要とします。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行います。耳コピー等を行なう事。自分の演奏を録音して、自らフィードバックを行う習慣を身に付けること。

■ **教科書・参考書**

担当教員の指示に従うこと。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル②

ポピュラーA

曜日時限

月 3時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	2～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽というカテゴリーには幅広いジャンルの楽曲が混在する故に、洋楽、邦楽を問わずに様々な楽曲の奏法、演奏を学んでいく。メンバーとのコミュニケーションを取りながら楽曲への理解、その時々での現場での対応能力を高めていく。

学修成果

①様々なジャンルの楽曲を演奏する事で自らの表現力を高めることが出来る。②苦手なジャンルを克服することにより、さらなるスキルアップに繋げることが出来る。③コミュニケーション能力を高めることが演奏向上に反映される事を理解出来る。

授業展開と内容

第1回 課題曲の演奏 (Sunday Morning、蒼氓) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第2回 課題曲の復習 (Sunday Morning、蒼氓) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第3回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第5回 課題曲の演奏 (It's too late、紅蓮華) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第6回 課題曲の復習 (It's too late、紅蓮華) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第7回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第8回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第9回 課題曲の演奏 (Dynamite、SAKURA) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第10回 課題曲の復習 (Dynamite、SAKURA) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第11回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第12回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第13回 課題曲の演奏 (September、RIDER) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第14回 課題曲の復習 (September、RIDER) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第16回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第17回 課題曲の演奏 (Faith、罪の香り) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第18回 課題曲の復習 (Faith、罪の香り) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第19回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第20回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第21回 課題曲の演奏 (Santa Claus is Coming to town、メロディ) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第22回 課題曲の復習 (Santa Claus is Coming to town、メロディ) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第23回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

- 第24回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。
- 第25回 課題曲の演奏（卒業ライブ用の楽曲） 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第26回 課題曲の復習（卒業ライブ用の楽曲） 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。
- 第27回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。
- 第28回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。
- 第29回 まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／2週に渡りヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。それぞれのスキルを確認する。
- 第30回 まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／2週に渡りヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。それぞれのスキルを確認する。

履修上の注意

課題曲の予習、練習は完璧にして準備した上で受講すること。自分の演奏は必ず録音して復習する。無断欠席や遅刻をしない、欠席者は事前に届けを出すこと。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

課題曲の練習はもちろんのこと、演奏する機会があれば積極的に参加すること。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付します。

科目名－クラス名

ポピュラーアンサンブル②

ポピュラーB

曜日時限

月 4時限

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	2～	通年	2	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー音楽というカテゴリーには幅広いジャンルの楽曲が混在する故に、洋楽、邦楽を問わずに様々な楽曲の奏法、演奏を学んでいく。メンバーとのコミュニケーションを取りながら楽曲への理解、その時々での現場での対応能力を高めていく。

学修成果

①様々なジャンルの楽曲を演奏する事で自らの表現力を高めることが出来る。②苦手なジャンルを克服することにより、さらなるスキルアップに繋げることが出来る。③コミュニケーション能力を高めることが演奏向上に反映される事を理解出来る。

授業展開と内容

第1回 課題曲の演奏 (Sunday Morning、蒼氓) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第2回 課題曲の復習 (Sunday Morning、蒼氓) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第3回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第4回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第5回 課題曲の演奏 (It's too late、紅蓮華) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第6回 課題曲の復習 (It's too late、紅蓮華) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第7回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第8回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第9回 課題曲の演奏 (Dynamite、SAKURA) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第10回 課題曲の復習 (Dynamite、SAKURA) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第11回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第12回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第13回 課題曲の演奏 (September、RIDER) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第14回 課題曲の復習 (September、RIDER) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第15回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第16回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第17回 課題曲の演奏 (Faith、罪の香り) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第18回 課題曲の復習 (Faith、罪の香り) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第19回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

第20回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。

第21回 課題曲の演奏 (Santa Claus is Coming to town、メロディ) 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。

第22回 課題曲の復習 (Santa Claus is Coming to town、メロディ) 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。

第23回 課題曲のヴォーカル合同演奏/ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。

- 第24回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。
- 第25回 課題曲の演奏（卒業ライブ用の楽曲） 楽器パートのみで譜面進行の確認。全員で楽曲を演奏しパート別に演奏内容の確認、修正。繰り返し行なう。
- 第26回 課題曲の復習（卒業ライブ用の楽曲） 楽器パートのみで演奏。他のパートをしっかりと確認しながら、ダイナミクスや音色の完成度を高める。
- 第27回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。
- 第28回 課題曲のヴォーカル合同演奏／ヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで繰り返し楽曲を演奏し練習する。ヴォーカルや他の楽器をしっかりと聴きながら演奏することを目標とする。楽曲として完成させる。
- 第29回 まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／2週に渡りヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。それぞれのスキルを確認する。
- 第30回 まとめ／今年度の全課題曲のヴォーカル合同演奏／2週に渡りヴォーカルも入れ合同のアンサンブルで楽曲を演奏。それぞれのスキルを確認する。

履修上の注意

課題曲の予習、練習は完璧にして準備した上で受講すること。自分の演奏は必ず録音して復習する。無断欠席や遅刻をしない、欠席者は事前に届けを出すこと。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

課題曲の練習はもちろんのこと、演奏する機会があれば積極的に参加すること。毎授業の各々の演奏に対して必ずフィードバックを行います。また、毎授業ごとに1時間の自学修が必要です。

教科書・参考書

譜面・音源は随時配付します。

科目名－クラス名

インストゥルメンツII②

曜日時限

実技

担当教員

白船 睦洋

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
実技・実習	2～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	0	100
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ポピュラー系楽器の基本的な奏法を学ぶ。副科であるため経験・未経験と個々の能力・状況に応じて初歩的な基礎技術から、進歩に応じたテクニック等を課題楽曲に取り組みながら主科以外の楽器の技術向上を目指す。各楽器を通して音楽的視野を広げてゆく。

学修成果

①主科以外の楽器を演奏することができる。②音楽的視野を広げる事ができる。③主科の楽器にも良い影響を与える事ができる。

授業展開と内容

- 第1回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
- 第2回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
- 第3回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲①演奏、レベルに応じた指導
- 第4回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
- 第5回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
- 第6回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲②演奏、レベルに応じた指導
- 第7回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第8回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第9回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第10回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第11回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第12回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲③演奏、レベルに応じた指導
- 第13回 ベーシクトレーニング（スケール等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
- 第14回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
- 第15回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、前期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
- 第16回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
- 第17回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
- 第18回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲④演奏、レベルに応じた指導
- 第19回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
- 第20回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
- 第21回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑤演奏、レベルに応じた指導
- 第22回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
- 第23回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
- 第24回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑥演奏、レベルに応じた指導
- 第25回 ベーシクトレーニング（スケール等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
- 第26回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
- 第27回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、課題曲⑦演奏、レベルに応じた指導
- 第28回 ベーシクトレーニング（スケール等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
- 第29回 ベーシクトレーニング（発音、発声等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導
- 第30回 ベーシクトレーニング（ルーディメンツ等）、後期実技試験曲演奏、レベルに応じた指導

履修上の注意

レッスン受講に際しては基礎・課題曲練習を十分行ない準備をし臨むこと。レッスン用の五線譜ノート、筆記用具は毎回必須であり必要に応じてノートすること。礼儀を大切に、無断欠席や遅刻をしないこと。与えられた課題曲等を次回レッスンまでに練習・準備しておくこと。

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

与えられたベーシックトレーニング・課題曲等を練習すること。個人練習の時間を確保すること。1回のレッスンに臨むにあたり、2時間の自学修を必要とします。取り組んだ課題については各レッスン回でフィードバックを行います。耳コピー等を行なう事。自分の演奏を録音して、自らフィードバックを行う習慣を身に付けること。

■ 教科書・参考書

担当教員の指示に従うこと。

2022年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1642 教員名：白船 睦洋

1) 評価結果に対する所見

『ポピュラーアンサンブル①』授業に関して、各設問の回答に関して「そう思う」ほぼ100%~67%という結果で、「少し思う」も設問によって1名の回答があったが「あまり思わない」「思わない」の回答は少なかった。また、その回答の設問も「自分はこの授業に興味や関心を持って出席している」→(あまり思わない)が1名、「自分はこの授業の予習・復習をしている」→(思わない)が1名と個人の積極性に関わる問題であった。しかし、如何に興味を持たせるか、予習や復習の指導をどう行っていくと良いのかが課題となる。

ポピュラーアンサンブルという複数学生の授業の評価が全体的に良い結果であったことは毎年の反省とそれに対する改善などがうまくできたということではないかと考える。自由表記部分では「楽しかった」という回答がありうまく授業進行ができたのではないかと考える。

『ジャズ・ポピュラー(器楽)』副科インストグループレッスン(ベース)に関しては、各設問の回答に関して「そう思う」「少し思う」という回答が多数を占めるが、「出席状況」や「予習・復習」に関する回答は、少し思うやあまり思わないという回答ポイントが上がっている。副科ということもあるため、主専攻楽器に比べ練習量や出席に関して下がってしまうのは致し方無いともいえるが大きな課題である。しかし、自由記述では「充実していた」「何もいうことがない」「個人個人の細かい部分までよく見てくださり便曲になった」「自分の成長を感じることができた」「次回も教えていただきたい」等々とても嬉しく励みになる内容ばかりであった。

『リズムトレーニング』授業に関しては各設問に対してほぼ「そう思う」、数名が「少し思う」という回答であった。「あまり思わない」「思わない」も回答は無かった。この授業は5名の複数教員による授業となっており、各教員が2回~4回の授業を担当しているが、各教員がしっかりと授業を行っている結果ではないかと考える。

『音楽教養表現Ⅱ』授業に関しては、各設問に対してほぼ「そう思う」、数名が「少し思う」という回答であったが、「自分はこの授業の予習・復習をしている」→思わないが1名あった。今後予習・復習を行うようどのようなようにするにはどのような授業展開をするのが良いかを検討しなくてはならない。

『音楽教養演習Ⅰ』授業に関しては半期科目、複数教員で1回の担当、複数の学生の授業となっており、様々なコースの演奏本番を見学する授業である。「授業は学生とのコミュニケーションに努めながら進められている」と「自分はこの授業の予習・復習をしている」→あまり思わないが1名ずつあった。確かに見学という授業という性質上コミュニケーションに関しては保ちにくい面がある可能性があるが今後の検討が必要である。

ここは分科会として確認が必要であろう。

『卒業研究 音楽教養』授業に関しては、最終の採点のみでの担当であったが回答は良い結果となっていると考える。

2) 要望への対応・改善方策

『ポピュラーアンサンブル①』授業に関しては1クラスが6~8名で全楽器パートの学生がおり、一人一人への指導をしっかりとできるよう心がけているが、シラバスに関しては授業初回時にはシラバスを確認するよう伝えているが更にしっかりと伝える。今後は楽曲の選定や授業進行に関しては、学生が興味を持つような様々な工夫を凝らしていく。

『ジャズ・ポピュラー(器楽)』副科インストグループレッスン(ベース)に関しては更に興味を持ち積極的に取り組めるような内容・課題や授業進行を検討し更に向上するよう努めたい。

『リズムトレーニング』授業に関してはやはり「予習・復習」「出席」に関する回答に対し、どのように学生に興味を持たせるのかが課題である。担当教員と話し合い授業展開や進め方に関する検討会を行っていきたい。

『音楽教養表現Ⅱ』授業に関しては2名の複数教員で担当しており、授業展開や課題等に関する話し合い検討を行なう。

『音楽教養演習Ⅰ』授業に関しては分科会として授業展開や進め方の検討を行い今後改善していく必要がある。

3) 今後の課題

複数担当科目に関しては教員全員で改善策や、授業内容や展開等に関して検討し担当教員の相互理解を深め、授業の繋がりを保ち共有をしていく必要があると考える。しかし、非常勤講師が多く担当しており、検討の時間や場所をどう設定していくのかを検討しなくてはならない。

アンサンブル授業では、学生一人一人に対する指導を手厚くしていきたいが、人数も多く個々へ時間をかけられないという難しさがある。限られた時間の中で演奏に対する個々への指導を上手く取る努力と工夫が必要である。

副科実技レッスンに関しては概ね授業内容や進め方は良いと考えられるが、更にもっと効果的な課題曲の選定、出席率向上に対して工夫をしていく必要がある。すべての授業やレッスンにおいて学生をもっと深く理解してあげる必性があると考ええる。

以上